青山小だより

令和３年度　９月号
港区立青山小学校　校長　髙山 直也
TEL 03-3403-5588　FAX 03-3403-5589
E メール aoyama-es@minato-tky.ed.jp
HP http://aoyama-es.minato-tky.ed.jp/

日本人の底力…を発揮させたものは

校 長　髙山 直也

２学期が始まりました。スタート早々から、通常とは違うことが山のようにあり、夏休み中から子供たちや保護者の皆様には、不安と緊張を強いたのではないかと思います。様々な連絡やアンケートにお応えいただき、本当にありがとうございました。詳細はがくぷりや配布物でお確かめください。

家で過ごすことが多い夏休みだったと思いますが、やはりオリンピック、パラリンピックを観る機会が多かったのではないでしょうか。オリンピックでは、金メダル数 27、総メダル数 58 は世界第３位。開催国とは言え日本人の底力を見せました。特に、卓球の混合ダブルスの金、女子バスケットボールの銀、は驚きました。どちらの種目にも、日本には絶対越えられない壁があったからです。

卓球は、負けない中国に勝ちました。バスケは、フランスやベルギーといった強豪を撃破し、アメリカとの決勝も初めは肉薄して世界を驚かせました。なぜ壁を越えたのか…。

私は、「絶対的支柱（支え）」の存在だと思いました。「絶対的」ですからその人は、普段も、精神的にも、ゲーム的にも、ペアやチームを支え続けている人…ということです。もっと言えば、能力を最大限に発揮させる力、いや時に火事場の馬鹿力を出させる力をもっている人とも言えます。

卓球の水谷隼選手。彼の一挙手一投足そしてその言葉は、伊藤美誠選手を落ち着かせ、鼓舞し、歓喜させました。試合中にかけ続けていた言葉の一つ一つは珠玉です。幼い頃からの付き合いで、伊藤選手の性格もキラーワードも承知の上。ずっとプラスの声掛けや、自信をつけさせる言葉を投げかけながら、時に気合いを自分のプレーで見せ、背中で叱咤までしていました。後のインタビューでも言っていましたが、自分の役割は伊藤選手のよさを１００%以上引き出すこと、と徹底していました。

女子バスケでその役は、ヘッドコーチのトム・ホーバス。私は恥ずかしながら、予選リーグの試合中に初めて知った人でした。流ちょうな日本語を駆使して選手を「前に前に押し出す」「自信をもたせる」ことが上手い。マイクを通して聞こえてきたのは、「あなたたちはもっとできるのに、なぜやらない！」「苦しいよ。でも苦しいのは相手も同じ。同じならアタックしかないでしょ。勝ちたいんでしょ。同じより上をやろうよ！」などなど…。

2017 年に監督に就任すると、「アメリカに勝って金メダル」という夢のような目標を掲げますが、日本人のよさを生かしたハードワークを計画的に積ませました。俊敏さ、勤勉さや冷静さは日本人の強み。オフェンスのスピード（俊敏性を磨く）と３点シュート（勤勉さ・冷静さで磨く）を世界一のレベルにするまで「猛特訓」したそうです。練習で走った距離は世界一。

底力を発揮できるのは、支えとなる人の存在であり、能力以上のものを引き出す…。水谷選手もホーバスコーチも、態度や言葉や背中で、個人やチームの能力を引き上げた。共通するキーワードは、

「目標（夢）をもたせ」「プラス言葉をかけ続け」「時に叱咤・鼓舞する」こと

もちろんそのための努力（ハードワーク）も含めて、見守り価値づけてあげることも大切です。パラリンピックを観ていても思うことは、人間には不可能は無いということ。しかし引き出す存在があってこそです。力を引き出すことができるのも人間。そんな人でいたい、そんな教師でいたい、そんな親でいたいと、振り返った夏でもありました。

海ごみについて考えよう

５年生では、総合的な学習で「海ごみについて考えよう」の学習をしています。５月に目白大学の石田先生の出前授業を受け、海ごみの現状について教えていただきました。このまま何もせずにいると、50 年後には海にすむ生きものと海ごみの重さが同じになるという衝撃的な事実を知らされました。

そこで５年生は、私たちにできることは何か考えました。クラスで話し合ったところ、今の海ごみの現状について青山小学校のみんなに知らせたい、学校の外に出てゴミ拾いの活動をしてみたいという意見が多く出ました。各クラスに海ごみの状況を知ってもらうために、グループに分かれてプレゼンを自分たちで作り、発表しました。７月には、外苑前町会の人たちの清掃活動に参加させてもらうことになっていましたが、雨天のため延期になってしまいました。また9月に参加させてもらう予定です。まだまだ海ごみを減らしていくために、５年生は活動を続けていきます。

5年担任　加瀨　郁美

図工専科より

1学期の図工室では、日々たくさんの活動や表現が生まれ、出来上がった作品は校舎の壁面を鮮やかに飾りました。青山小の子供たちは、どの学年の友達の作品も興味深く好意的に鑑賞しています。2学期以降、美術館での鑑賞教室や外部講師を招いての出前授業も予定しています。

鑑賞の経験が、日々を見つめる細やかな眼差しになるように、また学校生活全体を通しての友達との相互理解につながるように支援していきたいと思います。

図工専科　白川　真美

日	曜	主な行事予定
1	水	始業式　午前授業（～3 日まで）
2	木	給食始　●小松
3	金	
4	土	授業日
5	日	
6	月	全校朝会　委員会　計測始（～１０日まで）
7	火	４・５年都学力調査　○岩渕
8	水	午前授業
9	木	６年都学力調査　あすなろ学級説明会　●小松
10	金	
11	土	
12	日	
13	月	全校朝会　クラブ
14	火	読み聞かせ
15	水	６年サントリー出前授業
16	木	６年現代美術館　●小松
17	金	
18	土	
19	日	
20	月	敬老の日
21	火	４年ミュージアムスクール
22	水	たてわり班
23	木	秋分の日
24	金	午前授業　○岩渕
25	土	学校公開　道徳授業地区公開講座　保護者会
26	日	
27	月	全校朝会
28	火	１年おなか元気教室
29	水	午前授業
30	木	１・２年生活科見学　●小松

●○・・・カウンセラー来校日

※避難訓練は、９月後半に行う予定です。

今月の目標

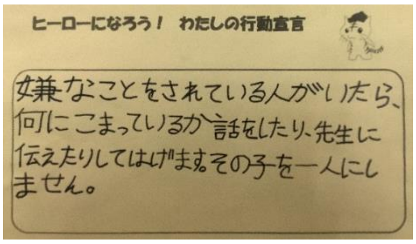
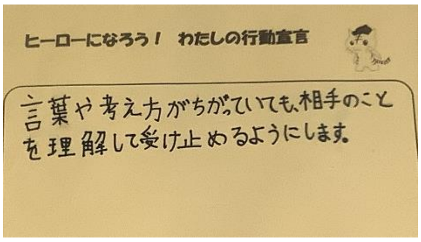
生活目標　時間を守ってすごそう
保健目標　規則正しい生活をしよう
給食目標　食後は静かに休もう

～SDGsにつながる学校の学びの様子～

校外学習　～ののあおやまビオトープ～（２年）

環境委員会　～屋上緑化作戦！パート２～

7月　青山小　生活の様子

いじめゼロプロジェクト　～あなたのすきないろ　～（あすなろ学級）

いじめゼロプロジェクト　～わたしの行動宣言～（４年生）